

CASBEE[®]戸建

評価認証申請ガイド

評価マニュアル(2014年版)用

平成26年11月21日

改正版

(一財)建築環境・省エネルギー機構 住宅研究部

[テキストを入力]

目次

1.	はじめに	・・・2
2.	申請資料の構成について	・・・3
3.	資料の作成について	・・・4
4.	資料のまとめ方	・・・5
5.	資料のインデックス取り付けについて	・・・5
6.	根拠箇所の明示について	・・・6
7.	申請チェックシート表示セルの記入およびフォント調整について	・・・6
8.	認証申請時の採点規準について	・・・6
9.	申請書類提出後のながれについて	・・・8
10.	認証について	

様式—1 CASBEE戸建評価認証申請書(個別認証)

参考資料

- ・チェックシート記入例
- ・計算表記入例
- ・1次資料作成例(設計図書 CAD)
- ・1次資料作成例(設計図書 手書き)

1. はじめに

[テキストを入力]

「CASBEE-戸建（新築）」は、戸建住宅の環境性能を評価し見える化するためのシステムです。住宅の実現する快適性や周辺環境、まちなみ、景観などへの貢献といった環境性能や省エネ、省資源、リサイクルなどの環境負荷の面などを総合的に評価格付けするツールです。

戸建住宅版のCASBEEは、平成19年9月に「CASBEE-すまい〔戸建〕」が発表されました。その後、関連する基準・法律の改正や、地球温暖化対策を巡る情勢の変化等を鑑み、平成22年7月に「CASBEE 戸建-新築」、さらに平成26年4月に「CASBEE-戸建（新築）」として改定されました。

「CASBEE 戸建評価認証」は、「CASBEE-戸建（新築）」の適正な運用と普及を目的とした制度で、申請者が提出した「CASBEE-戸建（新築）」による戸建住宅の環境性能評価結果を、（一財）建築環境・省エネルギー機構または認定認証機関が第三者として客観的に的確・妥当であるかを審査し確認するものです。審査にあたっては、各採点項目に対する評価の判断が、それぞれの評価基準に基づいて正しく行われているかを客観的に確認し、最終的な結果である BEE ランク（赤星ランク） が対象の戸建住宅の環境性能を正しくあらわしているかを認証します。

「CASBEE-戸建（新築）」を設計ツールやコミュニケーションツールとして活用する場合は、採点の対象となる取り組みを想定して評価をすることができませんが、認証における評価においては **統一した評価条件での客観的な審査を行うため、評価時点で未定の箇所に対する『想定』は認めない※**ものとし、すべての取り組みが確定していない設計段階での評価も認証の対象となりますが、その場合でも申請時点で設計内容として決定している取り組みだけの評価認証を行います。

※「LR1.1.1 躯体と設備による省エネ」の評価に用いる一次エネルギー計算に限っては平成25年省エネルギー基準の算定ルールに従うものとします。

例えば、計画段階で暖房設備が明確でない場合、省エネルギー基準の算定プログラムでは「暖房設備機器を設置しない。」を選択してエネルギー計算します。この時の計算は、各省エネ地域区分で一般的に利用される暖房設備が設置されると『想定』して行われます。本採点項目に限り、このような省エネルギー基準の算定ルールに従った『想定』評価を認めます。

[テキストを入力]

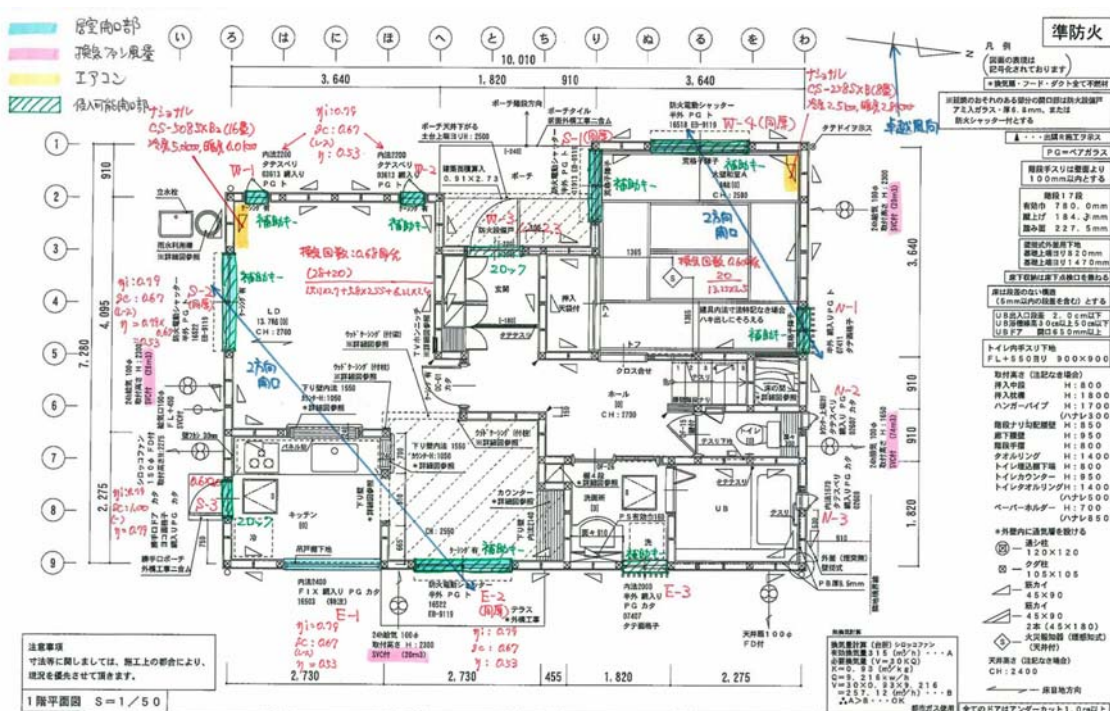
2. 申請資料の構成について

申請には、CASBEE 戸建評価認証申請書に加えて全項目に対して必要な 1 次資料と、項目ごとにレベル4か5を評価選択した場合に必要な2次資料があります。1 次資料は、全ての評価項目の基礎となる資料です。特に設計図書には、評価の考え方が分かるように直接書き込んで作成してください。単に図面を添付した、ということにならないようご注意ください。

(1) 1 次資料

1) 設計図書（設計図書は、設計や施工・販売などの通常の業務に使用するものに評価の内容を下図のように書き込んでください。一枚の図面に記入事項が多数になる場合は複数の図面に記入してください。例えば Q と L を別図面とする、Q1・Q2・・・などで別図面とする、など審査時に見やすいように配慮して下さい。)

図1 設計図書書き込み例（参考資料）



- 2) CASBEE-戸建（新築） 評価ソフト （紙媒体へ出力したもの）
- 3) 申請チェックシート
- 4) CASBEE-戸建（新築） 評価ソフト 入力済みデータ
- 5) 申請チェックシート 入力済みデータ
- 6) 一次エネルギー消費量計算結果（算定プログラムから出力したもの）

注：太陽光発電とソージェネレーションの両方を設置する場合は

2回の計算結果が必要（評価マニュアル p.101 参照）

[テキストを入力]

(2) 2次資料

7) 評価の根拠とする資料

3. 資料の作成について

① 評価ソフト記入事項

『設計上の配慮事項』の記入は必須です。設計上の方針・意図などについて明確に記入してください。

各評価項目の『具体的な取り組み』欄は、記入不要です。この部分の記述内容は②の申請チェックシート『評価の考え方』欄に記入してください。

ライフサイクルCO₂の計算に用いる電力会社実排出係数は毎年更新されています。最新の係数は環境省のホームページで確認してください。

<http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

②申請チェックシートは、「申請チェックシート」と「計算表」とで構成されています。申請チェックシートは、採点項目からなり、それぞれの評価レベルと「判断の内容」・「確認の方法」・「1次資料」・「2次資料」および「評価の考え方」を一覧できるように作られています。一方で計算表は、根拠となる資料のうち、計算や記述をする必要のある部分を、ひとまとめにしたものです。ただし、全ての記述内容を網羅しているものではありません。

なお、申請チェックシートの記入は、申請マニュアルの「記入例」を参考にしてください。

③「評価の考え方」欄のスペースが不足した場合は、別紙を添付してください。

④申請チェックシートの「2次資料」欄に資料名を追加する必要がある場合は、空欄に限って記入可能です。

⑤黄色に着色してあるセルが評価者の記入箇所です。

⑥評価の考え方の欄には、評価レベルが低い場合であっても、すべて記入し、空欄の無いようにしてください。

[テキストを入力]

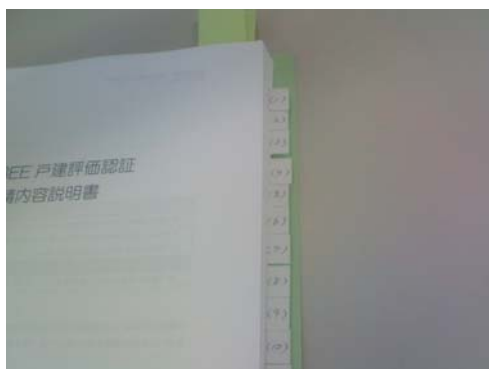
4. 資料のまとめ方

- ①1 次資料の 1)から3)、6)、7) は、それぞれ区分して、ひとつのファイルに綴じこんでください。また4) 5) の資料は、E-メールにて送付してください。
- ②申請資料は、申請時に 1 部、二次審査に入る際に新たに 2 部、計 3 部提出が必要です。審査終了後、最終審査資料として 1 部返却いたします。
- ③提出時のファイルは、A4 サイズとしてください。なお図面類は、出来るだけ A3 までとしてください。
- ④申請チェックシートおよび、この申請資料作成マニュアルの改変は、行なわないでください。特に申請チェックシートについては、書き込み可能な黄色のセル以外は、入力しないようにお願いします。

5. 資料のインデックス取り付けについて

申請チェックシートの「資料 No」の欄には、「1」、「2」、「3」・・・「23」など数字の連番で記入し、添付する各資料は先頭に白紙ページを入れ、これに連番でインデックスを取り付けてください。資料に直接インデックスを付けると、後日、差替えなどの時に困ることになります。ポストイットなど外れやすいものは不可です。「QH₁1.1.1.1」、「LR_H1.1.1」などの表示は、行なわないようにお願いします。

図2 作成参考例



なお「計算表」を使用しない場合には「資料 No」欄の『計算表』を消去してください。

[テキストを入力]

6. 根拠箇所の明示について

(1) 同一資料で複数ページにわたる場合

申請チェックシートに添付する資料が設計図書などで複数のページ（1 階平面、2 階平面など）になる場合、「資料 No」には、全て連番とするか若しくは「1-1」、「1-1-1」など枝番をつけてください。申請チェックシート資料欄および添付資料のインデックスにも同一の表示をお願いします。

(2) 根拠となる箇所の明示について

資料の中の根拠とした部分については、赤線にて該当箇所を囲むなどして判断の内容が間違いなく的確に伝わるよう工夫明示してください。判断根拠の箇所が、分かりにくい表示で不適切な場合など、それをもって不可となることがありますのでご注意ください。

7. 申請チェックシート表示セルの記入およびフォント調整について

紙で出力した際に、文字や数字が切れないようにご注意ください。切れる場合は以下に例示する要領でフォントサイズを調整してください。

(1) 評価の欄で『対象外』を選択した場合（QH1122 適切な冷房計画など）、フォントサイズが大きすぎて欄に表示し切れません。その場合サイズを『7』に変更してください。

(2) 資料 No の欄で複数の資料 No を記入する場合、セル内で折り返した上前項と同じようにフォントサイズを変更して全体を表示できるようにしてください。

8. 認証申請時の採点規準について

(1) 基本的に、認証は IBEC または認定認証機関が第三者として評価結果が流通する際に、確実に使用されると考えられる図面・仕様書・付属説明書・その他文書（以下文書類）などに基づき、その評価の妥当性・的確性を確認する行為です。従って評価に際して使用された事項は、すべて事前に計画され、前記の文書類に根拠として記載されていることを前提にします。

(2) 機器類は、機種を選定し設置位置や取組みについて図面に明記してください。ただし性能値などに基づいての記載は、認められません。※1

※1「COP 〇〇〇相当の機種を選定（想定）した。」などの記述は、認められません。

(3) 「LR1.1.2 家電・厨房機器による省エネ」で評価する持込家電の根拠は、設

[テキストを入力]

計時または竣工時の申請の場合未定であれば、評価マニュアルに従い取組みを“0”としてください。ただし、事前に計画され、ある一定の範囲の機種から選択されることが分かっている場合などについては、書類に機種名を記載してください。

9. 申請書類提出後のながれについて

(認証機関により若干異なります。以下は、IBEC の場合です。)

- ①申請書類を提出して頂くと、まず事務局が事前の『審査準備』として申請書類の不備の有無を調べさせていただきます。
万一、不備がある場合には、その旨御連絡いたします。不足の資料を提出して頂くこととなりますが、その場合資料返信までの所要時間によっては、翌月以降の審査となることがあります。
- ②申請書類に不備が無い場合や、追加資料の提出で必要書類が揃うと、次の段階として一次審査に進みます。その時点が『審査受付(開始)』となります。
IBEC より審査開始の通知と認証手数料のご請求を致します。
- ③一次審査が終了すると、『一次審査結果通知』を申請チェックシートとともに送らせて頂きます。結果をもとに対処をご判断いただきます。
- ④一次審査結果の対処を盛り込んだ二次審査用ファイル 2 部と、既提出分の修正資料 1 部を提出いただき、二次審査に入ります。
- ⑤二次審査結果が問題なく、または、追加の対処で問題が解決した場合、『ウェブ掲載事項確認書』を送付いたしますので、公表事項を最終的に決定して頂きます。その後、認証委員会の承認を経て認証という事になります。
- ⑥認証手数料の入金確認のうえ、IBEC ホームページに公開するとともに認証書および最終図書を送らせて頂きます。
- ⑦必要な日数は、途中の追加の対処があるか否かにより異なります。また、審査スタッフの状況によっても変動いたします。もっともスムーズに進行した場合に、②～⑥までの期間を約 60 日程度と考えております。

[テキストを入力]

10. 認証について

CASBEE 戸建評価認証は、CASBEE 戸建評価員の皆様が評価した内容を、提出して頂く書類を基に、その判断の的確性・妥当性を第三者として確認する行為です。従って評価および書類の作成など、すべて誠実に実行されていることを前提としています。

[テキストを入力]

(様式 1)

年 月 日

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

理事長

殿

会社名

申請者

印

所在地

CASBEE戸建評価認証申請書
(個別認証)

表記の評価認証、認定を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

1 建築物名称・建設地	名称:
	建設地:
2 設計者・施工者 ※)	設計者:
	施工者:
3 構造・規模	<input type="checkbox"/> 木造軸組 <input type="checkbox"/> ツーバイフォー <input type="checkbox"/> 鉄骨 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート <input checkbox"="" type="checkbox/>()</td> </tr> <tr> <td>延べ面積: m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>4 竣工(予定)日</td> <td>年 月 日 (竣工予定 竣工)</td> </tr> <tr> <td>5 CASBEE評価ツール
評価段階</td> <td><input type="/> CASBEE-戸建(新築)(2014年版) <input type="checkbox"/> CASBEE-戸建(新築)(2010年版) <input type="checkbox"/> 設計段階 <input type="checkbox"/> 竣工後入居前 <input type="checkbox"/> 入居後
	6 CASBEE評価書作成者 (CASBEE戸建評価)
7 連絡先等	担当者氏名
	phone: fax:
	e-mail:
	所属・役職名
担当部署所在地	〒
備考	

注) □の部分は、■または☑により項目を選択して下さい。 ※)の記載は任意です。

申請チェックシート (2014年版)		評価ランク (申請)	評価ランク (審査)	評価ランク (最終)	建築物名称	構造	申請者	規模	事務局使用欄			
平成26年11月21日第一期										受付日	回答日	決定日
評価項目		評価ランクを記入する			申請者記入欄				審査員記入		申請者回答記入欄	
		確認できない → 右	確認の方法	1次資料	評価の考え方		2次資料(根拠資料)		指摘内容		補足説明	
1	Q ₁₁ 1111	5	3	3	断熱性能の確保	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	自己評価による場合の等級の妥当性判断
2	Q ₁₁ 1112	4	3	3	日射の調整機能	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	※評価対象外の判断
3	Q ₁₁ 1121	5	3	3	風を取り込み、熱気を逃がす	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	一方開口で有効な措置とした場合の妥当性
4	Q ₁₁ 1122	5	3	3	適切な冷房計画	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	・冷房負荷が小さい住宅設計で、カタログの適用範囲とは異なる場合の計画妥当性 ・一般のエアコン以外の冷房方式の計画妥当性
5	Q ₁₁ 1131	5	3	5	適切な暖房計画	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	・暖房負荷が小さい住宅設計で、カタログの適用範囲とは異なる場合の計画妥当性 ・マニュアル記載以外の暖房方式の計画妥当性
6	Q ₁₁ 1210				化学汚染物質の対策	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	
7	Q ₁₁ 1220				適切な換気計画	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	レベル5評価で、公的認証がない場合の 独自方式換気設備の妥当性 (1種3種併用、自然換気併用など)
8	Q ₁₁ 1230				犯罪に備える	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	
9	Q ₁₁ 1240				災害に備える	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	
10	Q ₁₁ 1310				星光利用	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	※昼光利用設備有効面積換算時
11	Q ₁₁ 1400				静かさ	設計図書で確認した	設計図書	設計図書	※申請者は、評価の考え方をこの欄に記入してください。	審査員記入欄です。申請者は、記入しないでください。	審査員の指摘事項について追加・補足等がある場合この欄に記入してください。	

QH1112 日射の調整機能

(1)夏期日射侵入率計算表(居間を含む一体的空間)

開口番号 添付図面に 記載する	ガラスの 日射侵入率	日射遮蔽 部材の遮蔽 係数	庇等の 遮蔽係数	開口ごとの 日射侵入率 × ×	開口面積 m ²	×
W-1	0.79	0.67	1.00	0.53	0.47m ²	0.25
W-2	0.79	0.67	1.00	0.53	0.47m ²	0.25
S-2	0.79	0.67	1.00	0.53	3.63m ²	1.92
S-3	0.79	1.00	1.00	0.79	1.20m ²	0.95
E-1	0.79	0.67	1.00	0.53	0.50m ²	0.26
E-2	0.79	0.67	1.00	0.53	3.63m ²	1.92
合計					9.89m ²	5.55
3 < 0.6 ,レベル4 < 0.45,レベル5 夏期 < 0.3 冬期 > 0.6					加重平均	0.561

(2)冬期日射侵入率計算表(居間を含む一体的空間)

開口番号 添付図面に 記載する	ガラスの 日射侵入率	日射遮蔽 部材の遮蔽 係数	庇等の 遮蔽係数	開口ごとの 日射侵入率 × ×	開口面積 m ²	×
1			1.00			
2			1.00			
3			1.00			
4			1.00			
5			1.00			
6			1.00			
合計						

(1)夏期日射侵入率計算表(主寝室):洋間C

開口番号 添付図面に 記載する	ガラスの 日射侵入率	日射遮蔽 部材の遮蔽 係数	庇等の 遮蔽係数	開口ごとの 日射侵入率 × ×	開口面積 m ²	×
S-5	0.79	0.67	1.00	0.53	2.97m ²	1.57
E-4	0.79	0.67	1.00	0.53	1.31m ²	0.69
3			1.00			
4			1.00			
5			1.00			
6			1.00			
合計					4.28m ²	2.26
3 < 0.6 ,レベル4 < 0.45,レベル5 夏期 < 0.3 冬期 > 0.6					加重平均	0.529

(2)冬期日射侵入率計算表(主寝室)

開口番号 添付図面に 記載する	ガラスの 日射侵入率	日射遮蔽 部材の遮蔽 係数	庇等の 遮蔽係数	開口ごとの 日射侵入率 × ×	開口面積 m ²	×
1			1.00			
2			1.00			
3			1.00			
4			1.00			
5			1.00			
6			1.00			
合計						

QH1310 昼光利用

単純開口率計算表

開口番号	w (m)	h (m)	a	開口番号	w (m)	h (m)	a
1 S-1	1.19	1.30	1.55m ²	16 N-3	0.26	0.90	0.23m ²
2 S-2	1.65	2.20	3.63m ²	17 N-4	1.19	1.10	1.31m ²
3 S-3	0.60	2.00	1.20m ²	18 N-5	0.36	1.10	0.40m ²
4 S-4	1.50	1.80	2.70m ²	19 E-1	1.65	0.30	0.50m ²
5 S-5	1.65	1.80	2.97m ²	20 E-2	1.65	2.20	3.63m ²
6 W-1	0.36	1.30	0.47m ²	21 E-3	0.74	0.70	0.52m ²
7 W-2	0.36	1.30	0.47m ²	22 E-4	1.19	1.10	1.31m ²
8 W-3	1.20	2.30	2.76m ²	23 E-5	0.26	0.70	0.18m ²
9 W-4	1.65	1.80	2.97m ²	24 E-6	0.26	1.10	0.29m ²
10 W-5	0.36	1.10	0.40m ²	25			
11 W-6	0.36	1.10	0.40m ²	26			
12 W-7	0.36	1.10	0.40m ²	27			
13 W-8	1.65	1.10	1.82m ²	28			
14 N-1	0.74	1.10	0.81m ²	29			
15 N-2	0.26	0.70	0.18m ²	30			

居室面積 m²

1	28.36m ²	6	
2	13.25m ²	7	
3	10.77m ²	8	
4	10.77m ²	9	
5	13.25m ²	10	

A

 31.07m²

S

 76.39m²
W
40.67%

凡例
(図面の表現は記号化されております)
*換気扇・フード・ダクト全て不燃材

※延焼のおそれのある部分の開口部は防火設備戸
アミ入ガラス・厚6.8mm、または
防火シャッター付とする

▲・・・出隔R施工リス
PG=ベアガラス

階段手スリは壁面より
100mm以内とする

階段17段
有効巾 780.0mm
蹴上げ 184.3mm
踏み面 227.5mm
壁掛式外釜用下地
基礎上端ヨリ820mm
基礎下端ヨリ1470mm

床下収納は床下点検口を兼ねる

床は段差のない構造
(5mm以内の段差を含む)とする

UB出入口段差 2.0cm以下
UB浴槽縁高3.0cm以上5.0cm以下
UBドア 開口65.0mm以上

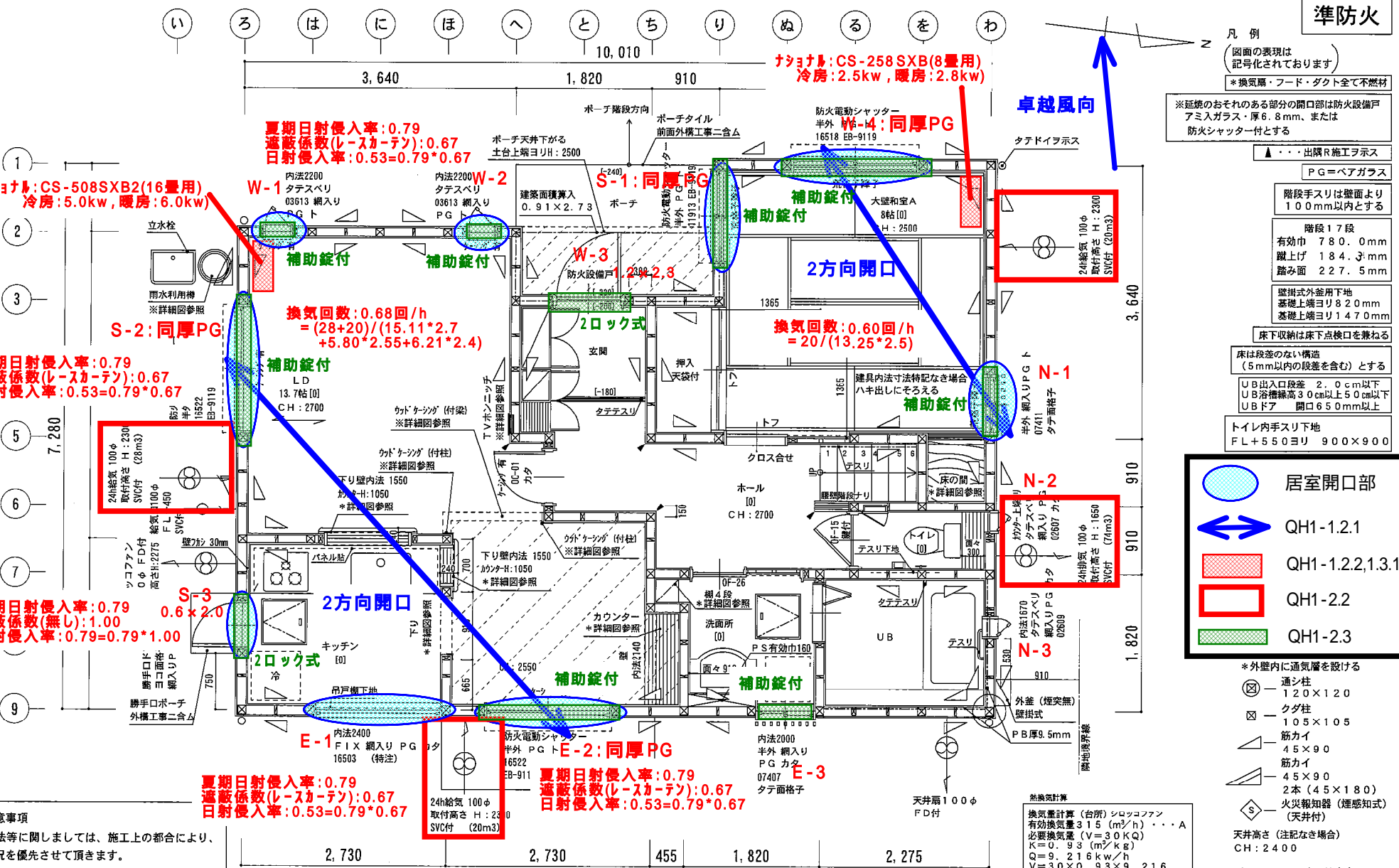
トイレ内手スリ下地
FL+550ヨリ 900×900

- 居室開口部
- QH1-1.2.1
- QH1-1.2.2,1.3.1
- QH1-2.2
- QH1-2.3

*外壁内に通気層を設ける

- 通シ柱 120×120
- クダ柱 105×105
- 筋カイ 45×90
- 筋カイ 45×90
- 筋カイ 2本 (45×180)
- 火災報知器 (煙感知式) (天井付)
- 天井高さ (注記なき場合) CH:2400
- 床目地方向

換気量計算 (台所) シロココファン
有効換気量: 315 (m³/h) ... A
必要換気量: (V=30KQ)
K=0.93 (m³/kg)
Q=9.216kw/h
V=30×0.93×9.216
=257.12 (m³/h) ... B
●A>B...OK



夏期日射侵入率: 0.79
遮蔽係数(レ-スカーテン): 0.67
日射侵入率: 0.53=0.79*0.67

ナショナル: CS-508SXB2(16畳用)
冷房: 5.0kw, 暖房: 6.0kw

ナショナル: CS-258SXB(8畳用)
冷房: 2.5kw, 暖房: 2.8kw

換気回数: 0.68回/h
=(28+20)/(15.11*2.7 + 5.80*2.55+6.21*2.4)

換気回数: 0.60回/h
= 20/(13.25*2.5)

夏期日射侵入率: 0.79
遮蔽係数(レ-スカーテン): 0.67
日射侵入率: 0.53=0.79*0.67

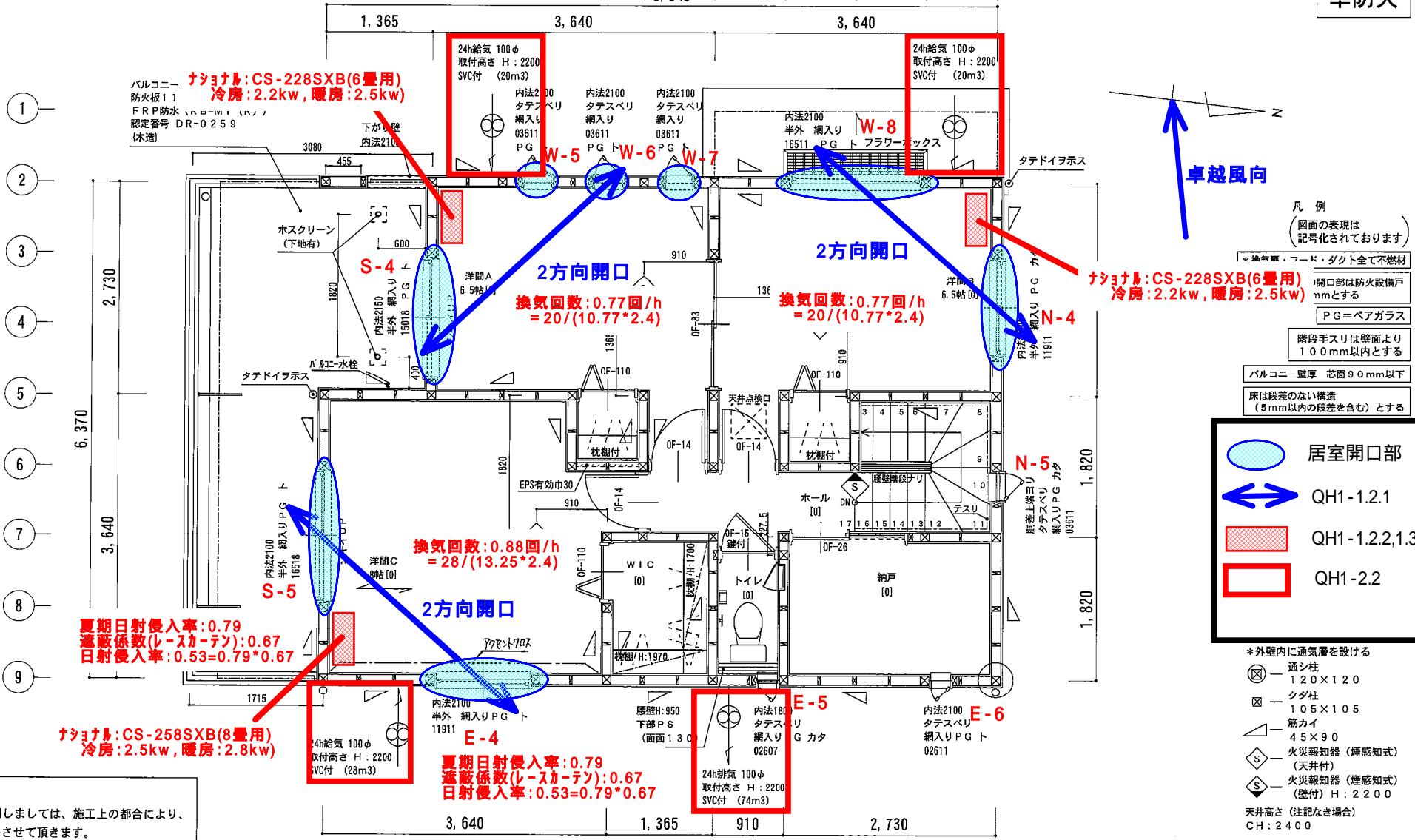
夏期日射侵入率: 0.79
遮蔽係数(無し): 1.00
日射侵入率: 0.79=0.79*1.00

夏期日射侵入率: 0.79
遮蔽係数(レ-スカーテン): 0.67
日射侵入率: 0.53=0.79*0.67

夏期日射侵入率: 0.79
遮蔽係数(レ-スカーテン): 0.67
日射侵入率: 0.53=0.79*0.67

注意事項
寸法等に関しましては、施工上の都合により、
現状を優先させていただきます。

い ろ は に ほ へ と ち り め る を わ



バルコニー
防火板11
FRP防水
認定番号 DR-0259
(休造)

ナショナル:CS-228SXB(6畳用)
冷房:2.2kw,暖房:2.5kw

24h給気 100φ
取付高さ H:2200
SVC付 (20m3)

24h給気 100φ
取付高さ H:2200
SVC付 (20m3)

6.370

3.640

3.640

1715

1,365

3,640

3,640

8,645

3,640

1,365

910

卓越風向

ナショナル:CS-228SXB(6畳用)
冷房:2.2kw,暖房:2.5kw

換気回数:0.88回/h
= 28/(13.25*2.4)

換気回数:0.77回/h
= 20/(10.77*2.4)

換気回数:0.77回/h
= 20/(10.77*2.4)

夏期日射侵入率:0.79
遮蔽係数(レースカーテン):0.67
日射侵入率:0.53=0.79*0.67

夏期日射侵入率:0.79
遮蔽係数(レースカーテン):0.67
日射侵入率:0.53=0.79*0.67

ナショナル:CS-258SXB(8畳用)
冷房:2.5kw,暖房:2.8kw

24h排気 100φ
取付高さ H:2200
SVC付 (74m3)

内法2100
タテスベリ
網入りPGト
02611

凡例
(図面の表現は
記号化されております)

※換気扇・フード・ダクト全て不燃材

開口部は防火設備戸
nmとする

PG=ペアガラス

階段手スリは壁面より
100mm以上とする

バルコニー壁厚 芯厚90mm以下

床は段差のない構造
(5mm以内の段差を含む)とする

	居室開口部
	QH1-1.2.1
	QH1-1.2.2,1.3.1
	QH1-2.2

※外壁内に通気層を設ける

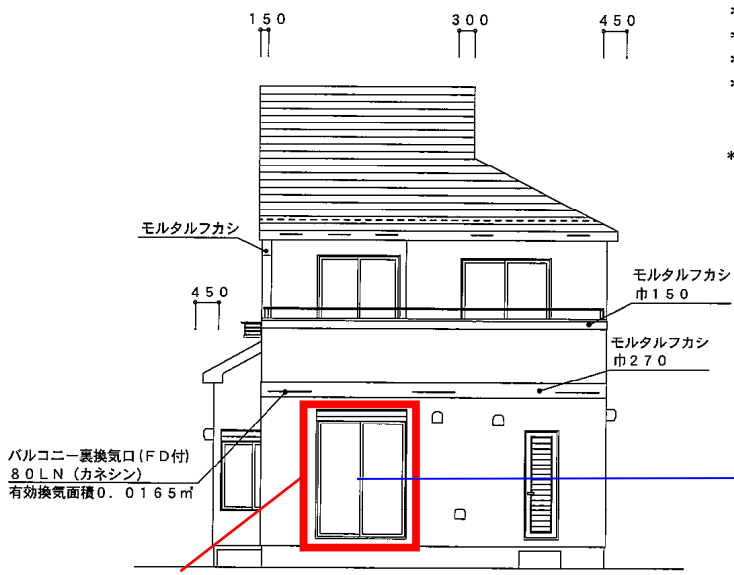
- ⊗ 通シ柱 120×120
- ⊠ クラ柱 105×105
- △ 筋カ 45×90
- ◇ 火災報知器(煙感知式)(天井付)
- ◇ 火災報知器(煙感知式)(壁付) H:2200

天井高さ(注記なき場合)
CH:2400

← 床目地方向

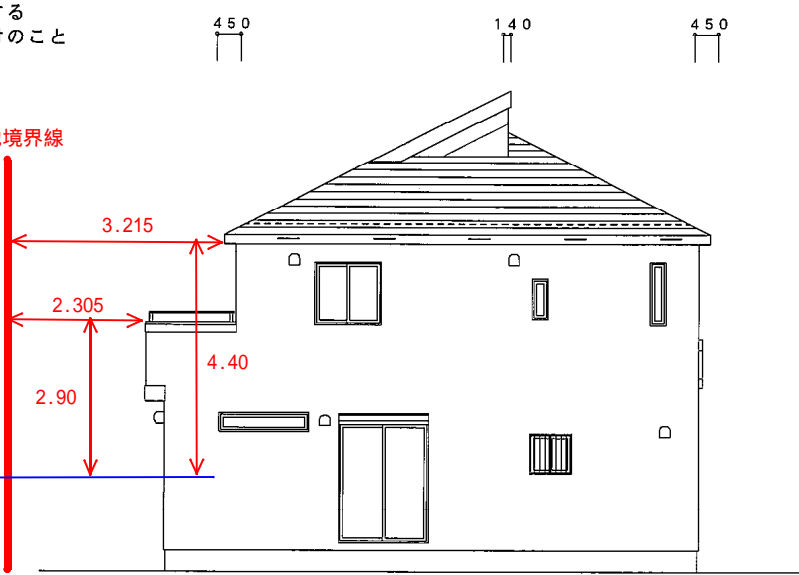
注意事項
寸法等に関しましては、施工上の都合により、
現況を優先させて頂きます。

* 軒の出寸法はトイ先までとする
 * 雪止め金具は、全屋根に取付のこと
 * 小屋裏利用 有・無 (無)
 * キンパッキン使用
 JOTO/H8. 10. 1住公発
 第406号(建)96-501 隣地境界線
 * ポーチ天井・バルコニー裏、軒裏に同じ

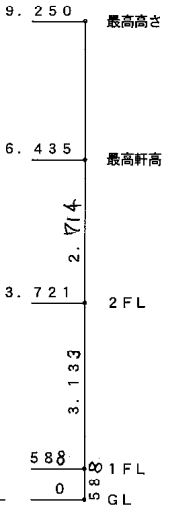


居間: 対象開口部
 (28.36㎡) 開口面積3.63㎡

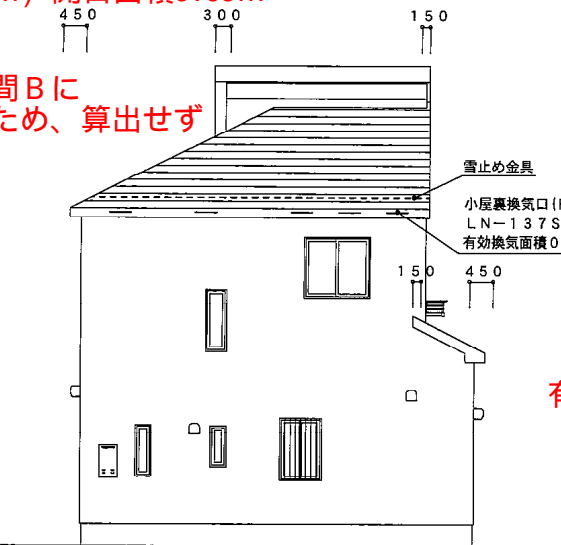
注意事項
 寸法等に関しましては、施工上の都合により、
 現況を優先させていただきます。



東立面図 1/100



寝室は、洋間Bに
 南面が無いので、算出せず



北立面図 1/100

採光関係比率

$2.305 / 2.9 = 0.795$

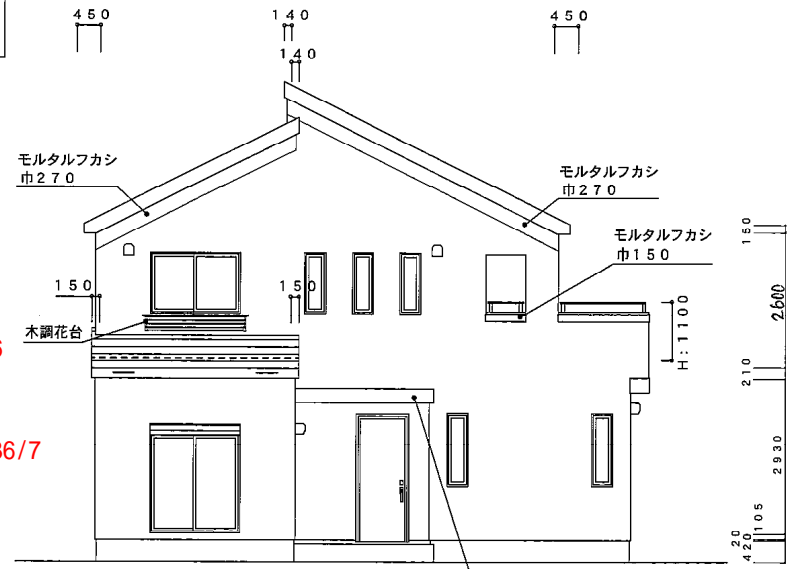
$3.215 / 4.4 = 0.731$

採光補正係数

$0.731 \times 6 - 1.4 = 2.986$

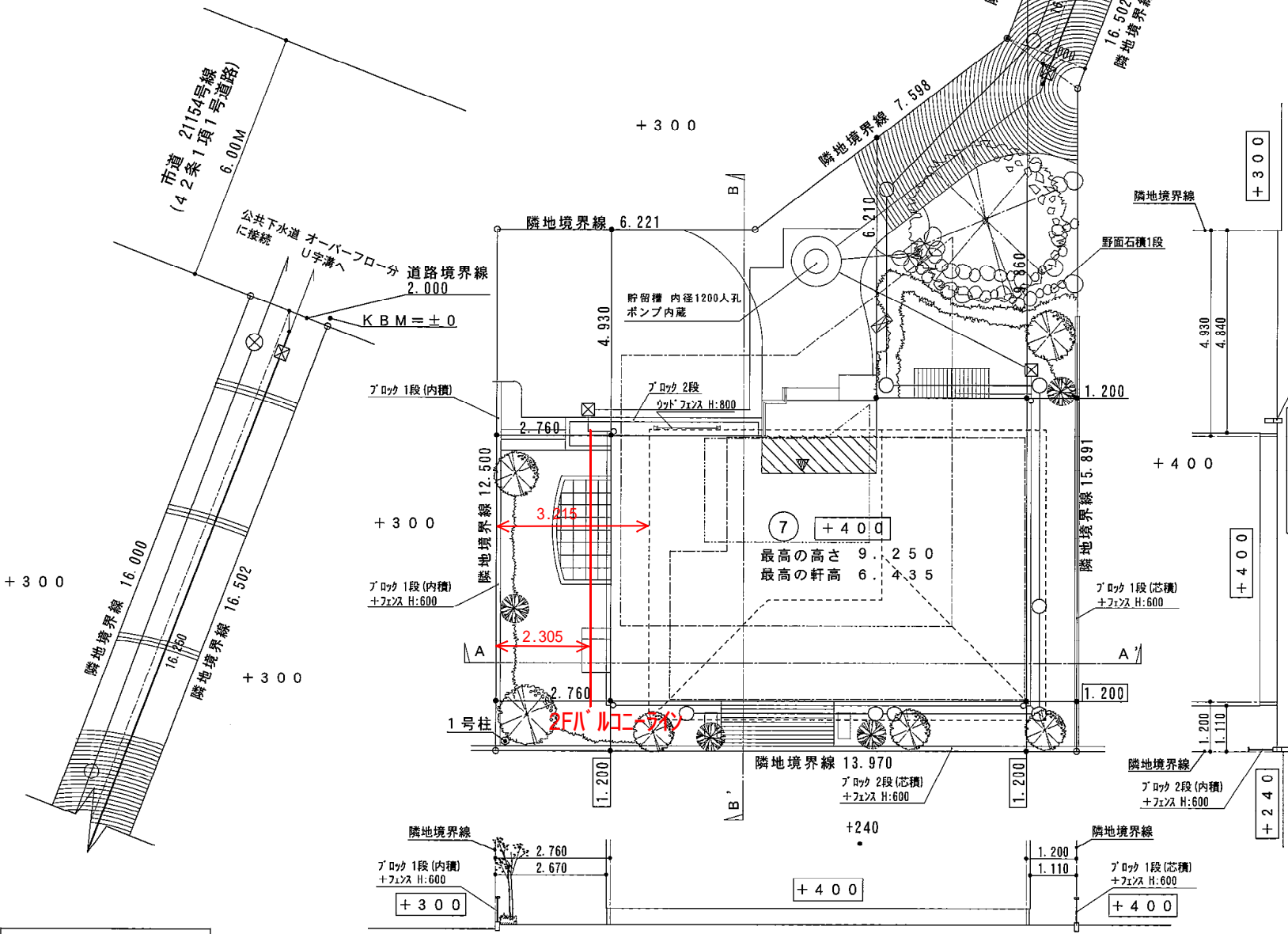
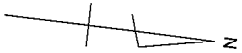
有効採光面積

$3.63 \times 2.986 = 10.84 > 4.05 = 28.36 / 7$



西立面図 1/100





注意事項
 寸法等に関しましては、施工上の都合により、
 現況を優先させて頂きます。

----- 1F延焼のおそれのある部分
 - - - - - 2F延焼のおそれのある部分

- 凡 例
- 1階建築物
 - 2階建築物
 - - - - - 大屋根伏せ
 - 汚水雑排水経路
 - 雨水排水経路
 - ⊗ 最終マス
 - ⊠ 雨水浸透マス
 - 壁芯から境界線寸法

外 部 仕 様		軒裏	外 部 ア ル ミ 建 材		パ ル コ ニ ー ・ パ ラ ペ ッ ト 仕 様		
屋 根	(KMEW)スベリアルグランデ		サッシ	(三協立山) マテイOP ※図面参照 色:ネットブラウン	防水 ※床面積 10㎡以下	弾性FRP:(三井化学産) リマスター「RB-M2」 下地:防火板11mm(ニチアス・ケイ板11mm)	
	KLESP421W(フジブラウン)	バルコニー裏		(ニチアス) 防火板11mm BNN-11N		網戸付	認定番号:DR-Q259
	KLESP462W(フジブラウン)	玄関ポーチ上		(アカ) シヨハットJP-100吹放し仕上げ		居室のみPG(マテイOP)	色:グレー
	KLESP423W(フジオレンジ)	下屋軒裏		色:JP-5010		表記網入り:ヒコロワイヤー	弾性FRP:(三井化学産) リマスター「RB-M1(R)」
	KLESP433W(フジパーシェ)			有孔ケイ化板		防火板層ガラス・セキユオペア ※図面参照	下地:防火板11mm+緩衝マット(Rマト)
	KLESP493W(フジレッド)	造作出窓裏		(ニチアス) 防火板11mm BNN-11N		①アベックスフラン	認定番号:DR-Q259
	KLESP447W(フジグリーン)			色:軒裏に同じ		(立山)アベックスRVR(LDのみ) ※図面参照	色:グレー
	色種			(ユニテ)下端水切り(バルコニーに同じ)		②アベックスフラン	弾性FRP:(三井化学産) リマスター「RB-M2(R)」
	雪止め金物(L型) ※図面参照	底板金		色:ブラック・ブラウン・ホワイト		③マテイOPフラン	下地:防火板11mm+緩衝マット(Rマト)
	軒先・ケラハ板金野地板キャブ(準防火地域)						認定番号:DR-Q259
外 壁 (モルタル)	既調査軽量モルタル下地(ネット入)吹付け	キッチン屋外フード	シャッター	(三協立山) シャッターサッシ・ラクフィナー ※図面参照	防水 ※床面積 30㎡超~30㎡以下	色:グレー・アイボリー	
	(アカ)シヨハットJP-100吹放し仕上	換気口	(防火仕様)	(三協立山) シャッターサッシ・ラクフィナー (電動)	10㎡超~20㎡以下(※手動)	色:グレー・アイボリー	
	全体			※手動開閉機能付		色:オータムB	
	色:JP-5010			(三協立山) シャッターサッシ・ラクフィナー ※図面参照		(川口技研)メスグリーン GP-55-DB	
				手動		色:タークワロス	
				※図面参照		(川口技研)メスグリーン SPO-S	
				色:ブラウン	下端水切り	(ユニテ)バルコニー 下端水切り	
				(三和シャッター)サンプレミアⅢ(電動) ※図面参照	※床面積 30㎡超~30㎡以下	色:オータムブラウン	
				色:ブラウン	ハレハット笠木	板金仕上	
				(三協立山) フレディア (56) K4仕様		色:ブラウン	
外 壁 下 地	通気層用防露層 18×45	雨樋	玄関ドア	シングル戸 DH2310	その他 特記事項	色:オータムB	
	(フクビ)通気防水シートスーパージェットSP-01	(積水化学)	(防火仕様)	色:カエネローニ(GP)		色:オータムB	
		※6・7号棟のみ		ハンドル:アーチタイプ 2型 (色:シルバー)		外部腰壁笠木(アルミ笠木)	
				※図面参照		色:オータムB アルミ笠木巾:(215)	
				シリンダー:DP			
				(三協立山) マテイOS・探風勝手口ドア			
				W=060 H=20			
				横格子			
				色:サッシ色に同じ		そ の 他	
				防火板層ガラス・セキユオペア ※図面参照			
外 壁 化粧材 (帯)	(ウベホド) HF-210		勝手口ドア	(三協立山) マテイOP・勝手口ドア	宅内引込	有 (20 mm) 達成時取出済	
	※図面参照			W=060 H=18	※ター	無	
				色:サッシ色に同じ	取工変更	無	
				網戸無し	取出工事	無	
				外部物入ドア	排水放流先	汚水 → 最終併 → 汚水管	
				(三協立山) マテイOP・勝手口ドア		雨水 → 浸透併 → U字溝	
				W=060 H=18	ガス	プロバン会社:第一エネルギー・設備(株)	
				ラマ木タダ 単板ドア		集中プロバン会社:第一エネルギー・設備(株)	
				ドア:ブラウン 枠色:サッシ色と同じ		都市ガス会社: 東彩ガス	
				中棧付 上ガラス貼り・下パネル貼り		宅内引込 有	
ふ じ (帯)	既調査軽量モルタル下地(ネット入)吹付け	その他	面格子	(三協立山) マテイOP 好格子	給水ユニット配管	有 (サヤ管)	
	(アカ)シヨハットJP-100フラット仕上げ			色:サッシ色に同じ	排水ヘッダー配管	有 (サヤ管)	
	色:JP-5010			(三協立山) メイクグリーン たて格子 25見付	検査	(現場審査・完了検査)	
	※図面参照			呼称:W=1325 H=1475 D=06	立合い	地縄・完成立合い	
	独立した窓廻り	QH1-1.1.1 熱 仕 様		壁付タイプ 横棧2本仕様	祭礼・儀式	地鎮祭・上棟式	
	色:オールドブラウン	断熱仕様		色:トラッドパン(木目調) ※取付金物同色	仮設	水道 (号棟) ※図面参照	
				※詳細図参照 ※下地必要		便所・電気4K・1K ※図面参照	
				(三協立山) マテイOP・洋室台形出窓・引違い		※水道・便所は同一号棟に設置	
				角型カウンター:(色:)			
				(三協立山) マテイOP・キッチン角型出窓・引違い	私設電柱	引き込み用電柱(松下) ※建築時設置	
タイル	(メカー名)商品名 品番		アラミ出窓	カウンター:(ステンレス) D:220		品番 (XDD271A) 色 (コーヒーブラウン)	
	色:						
	目地種類(平目地・沈み目地・ナン)						
	目地色(普通モルタル)						
木目調							
KB-150 W=150							
KB-210 W=210							
ファンコート仕上(色:オールドブラウン)							
玄関廻りモジュール			アラミBOX	(三協立山) makefard 木調花台	共同アンテナ	無・有(会社名:)	
				呼称:W=1562.5 H=252 D=398.5	・CATV	B/S対応(無・有)	

QH1-1.1.1 , QH1-4

- 居室開口部
- 換気扇風量
- エアコン
- 侵入可能開口部

い ろ は に ほ へ と ち り ぬ る を わ

10, 010

準防火

凡例
(図面の表現は記号化されております)
*換気扇・フード・ダクト全て不燃材

*延焼のおそれのある部分の開口部は防火設備戸
アミ入ガラス・厚6.8mm、または
防火シャッター付とする

▲・・・出隅R施工ヲ示ス

PG=ペアガラス

階段手スリは壁面より
100mm以内とする

階段17段
有効巾 780.0mm
蹴上げ 184.3mm
踏み面 227.5mm

壁掛式外釜用下地
基礎下端ヨリ820mm
基礎下端ヨリ1470mm

床下収納は床下点検口を兼ねる

床は段差のない構造
(5mm以内の段差を含む)とする

UB出入口段差 2.0cm以下
UB浴槽縁高30cm以上50cm以下
UBドア 開口650mm以上

トイレ内手スリ下地
FL+550ヨリ 900×900

取付高さ(注記なき場合)

- 押入中段 H: 800
- 押入枕棚 H: 1800
- ハンガーパイプ H: 1700
- 階段ナリ勾配壁壁 H: 850
- 廊下腰壁 H: 950
- 階段手摺 H: 800
- タオルリング H: 1400
- トイレ埋込棚下端 H: 800
- トイレカウンター H: 950
- トイレタオルリング H: 1400
- ペーパーホルダー H: 700

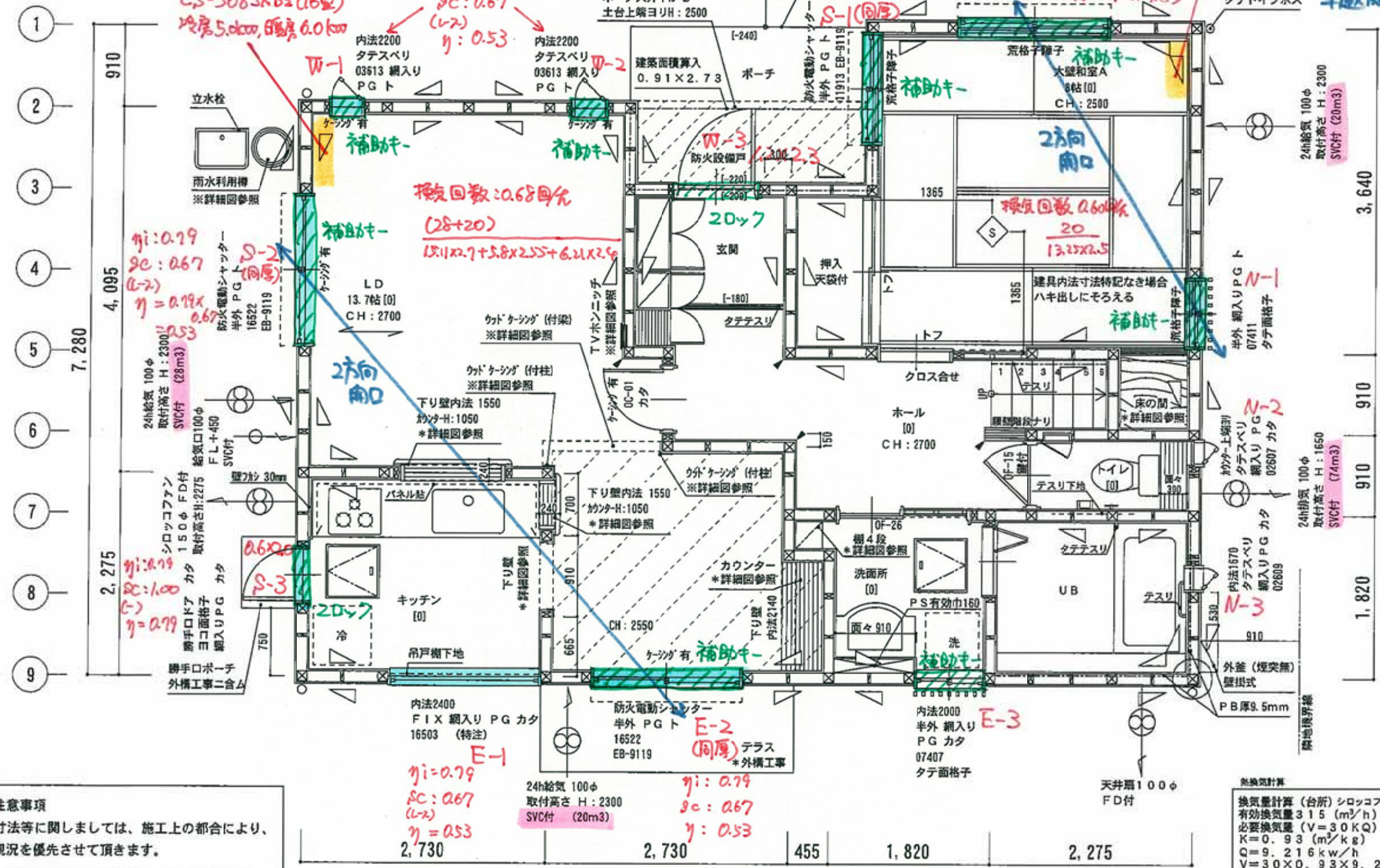
*外壁内に通気層を設ける

- 通シ柱 120×120
- クダ柱 105×105
- 筋カイ 45×90
- 筋カイ 45×90
- 2本(45×180)
- 火災報知器(煙感知式)(天井付)

天井高さ(注記なき場合)
CH: 2400

← 床目地方向

全てのドアはアンダーカット1.0cm以上



注意事項
寸法等に関しましては、施工上の都合により、
現況を優先させていただきます。

1階平面図 S=1/50

換気量計算
換気量計算(台所)シロッコファン
有効換気量315(m³/h)・・・A
必要換気量(V=30KQ)
K=0.93(m³/kg)
Q=9.216kw/h
V=30×0.93×9.216
=257.12(m³/h)・・・B
●A>B・・・OK

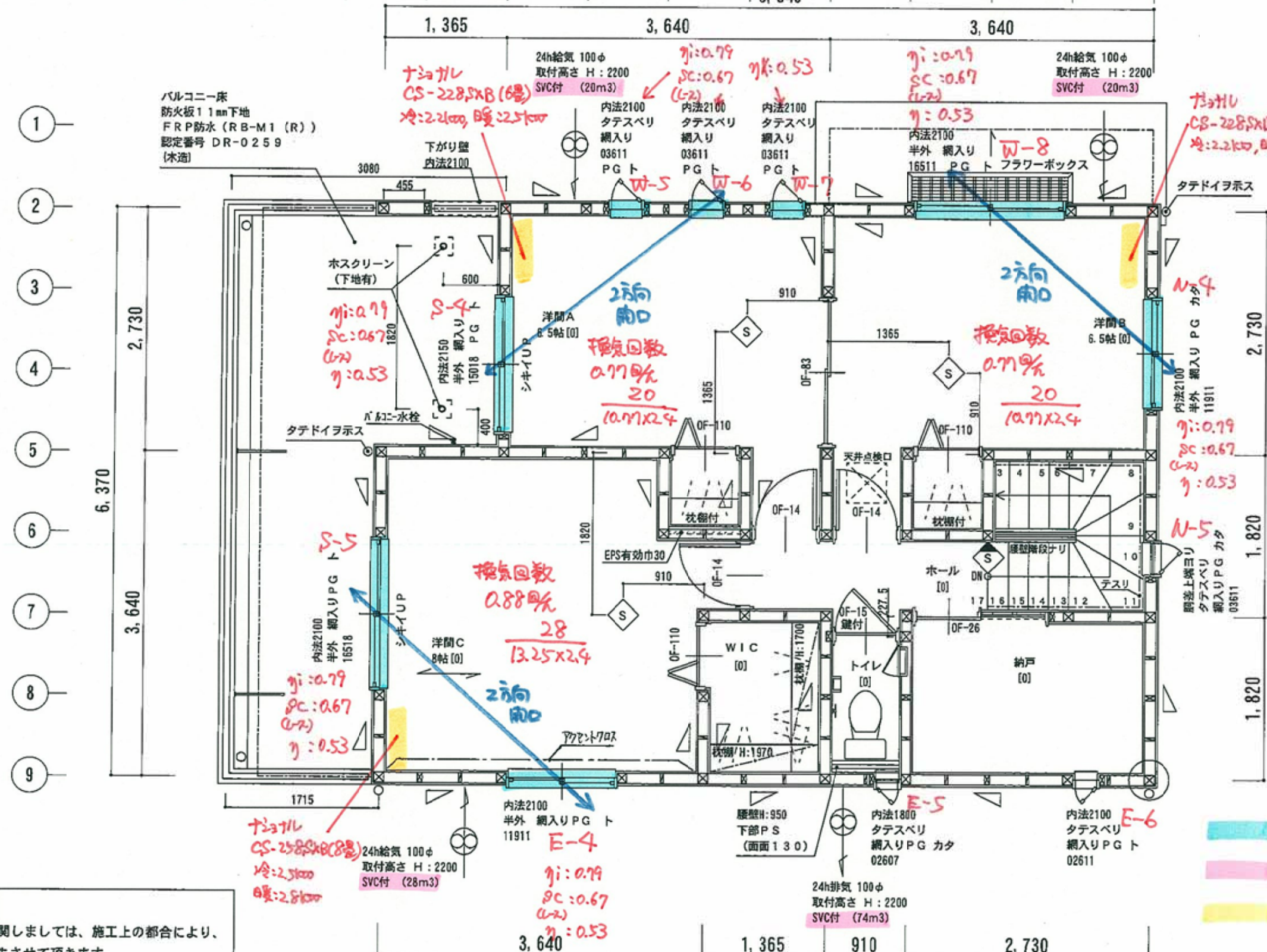
工事名	E0B02107 西大袋2-1-7 邸新築工事		仕様	ポラス21	
用途地域	第一種中高層住居専用地域		検査	中間・完了検査	
高度地区	準防火地域		割増		
1階床面積	64.59 m²	19.50 坪	敷地面積	m²	
2階床面積	51.34 m²	15.50 坪	建築面積	67.07 m²	
3階床面積	m²	坪			
地階面積	m²	坪			
延床面積	115.93 m²	35.00 坪			

POLUS ポラスグループ
一級建築士大臣登録226962号 篠崎 信彦
(株)中央住宅 戸建分譲事業部一級建築士事務所
一級建築士事務所埼玉県登録第(4)3201号 TEL: 048-987-3888

企画設計 実施設計 CAD 検印
本堂 佐藤 加藤
1 平成19年2月14日
2 平成 年 月 日
3 平成 年 月 日

い ろ は に ほ へ と ち り め る を わ

準防火



- 凡例
(図面の表現は記号化されております)
- *換気扇・フード・ダクト全て不燃材
 - ※延焼のおそれのある部分の開口部は防火設備戸・アミ入りガラス・厚6.8mmとする
 - PG=ペアガラス
 - 階段手スリは壁面より100mm以内とする
 - バルコニー壁厚 芯面90mm以下
 - 床は段差のない構造 (5mm以内の段差を含む) とする
 - 取付高さ (注記なき場合)
 - 押入中段 H: 800
 - 押入枕棚 H: 1800
 - ハンガーパイプ H: 1700
 - 階段ナリ勾配腰壁 (ハナレ300) H: 850
 - 廊下腰壁 H: 950
 - 階段手摺 H: 800
 - タオルリング H: 1400
 - トイレ埋込棚下端 H: 800
 - トイレカウンター H: 950
 - トイレタオルリング H: 1400 (ハナレ500)
 - ペーパーホルダー H: 700 (ハナレ850)
 - バルコニー水栓 H: 梁上端引800
 - *外壁内に通気層を設ける
 - ☒ 通シ柱 120×120
 - ☒ クダ柱 105×105
 - 筋カイ 45×90
 - ⊠ 火災報知器 (煙感知式) (天井付)
 - ⊠ 火災報知器 (煙感知式) (壁付) H: 2200
 - 天井高さ (注記なき場合) CH: 2400
 - ← 床目地方向

注意事項
寸法等に関しましては、施工上の都合により、現況を優先させて頂きます。

2階平面図 S=1/50

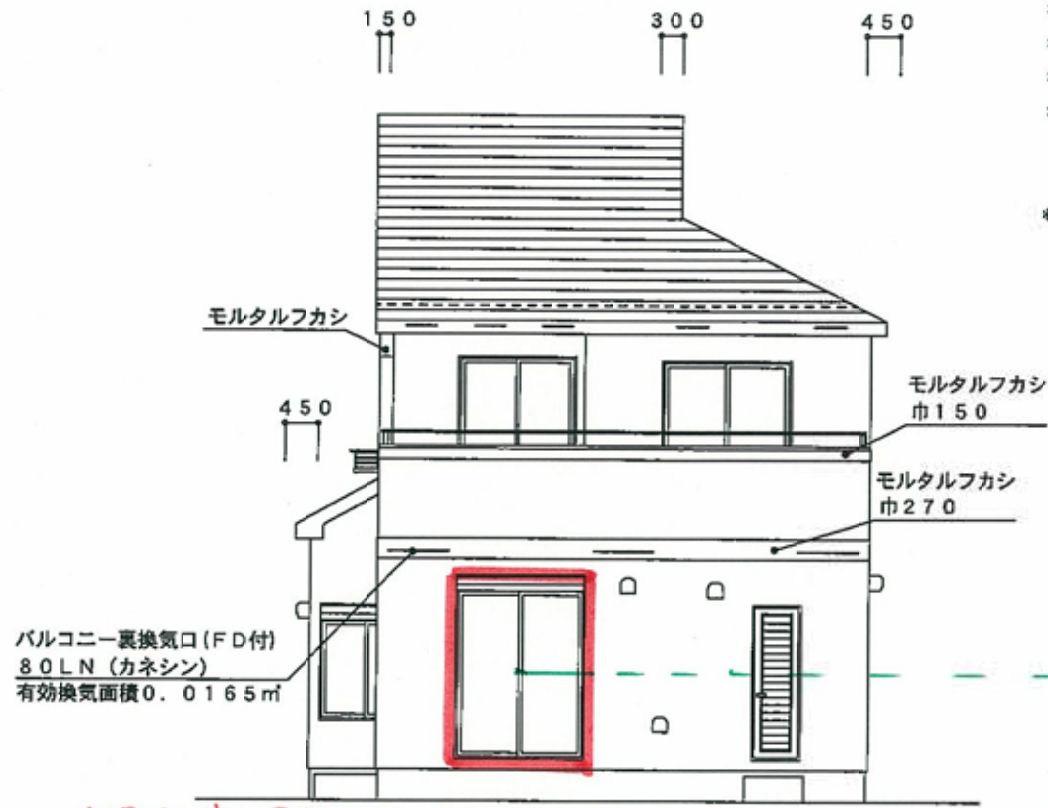
工事名	E0B02107 西大袋2-1-7 邸新築工事	仕様	ポラス21	用途地域	第一種中高層住居専用地域
企画設計	本堂	実施設計	佐藤	高度地区	準防火地域
CAD	加藤	検査	検査 中間・完了検査	1階床面積	64.59 m ² 19.50 坪
製作年月日	1 平成19年 2月 14日	割増		2階床面積	51.34 m ² 15.50 坪
	2 平成 年 月 日			3階床面積	m ² 坪
	3 平成 年 月 日			地階面積	m ² 坪
				延床面積	115.93 m ² 35.00 坪
				敷地面積	m ²
				建築面積	67.07 m ²

POLUS ポラスグループ
一級建築士大臣登録226962号 篠崎 信彦
(株)中央住宅 戸建分譲事業部一級建築士事務所
一級建築士事務所埼玉登録第(4)3201号 TEL: 048-987-3888

準防火

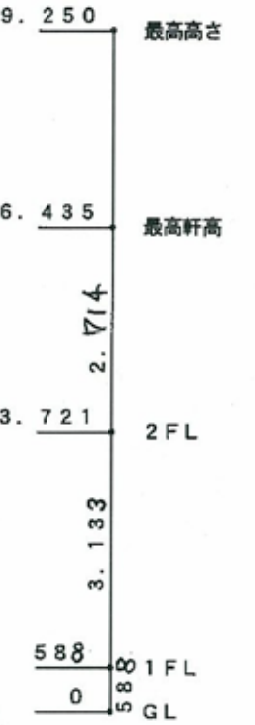
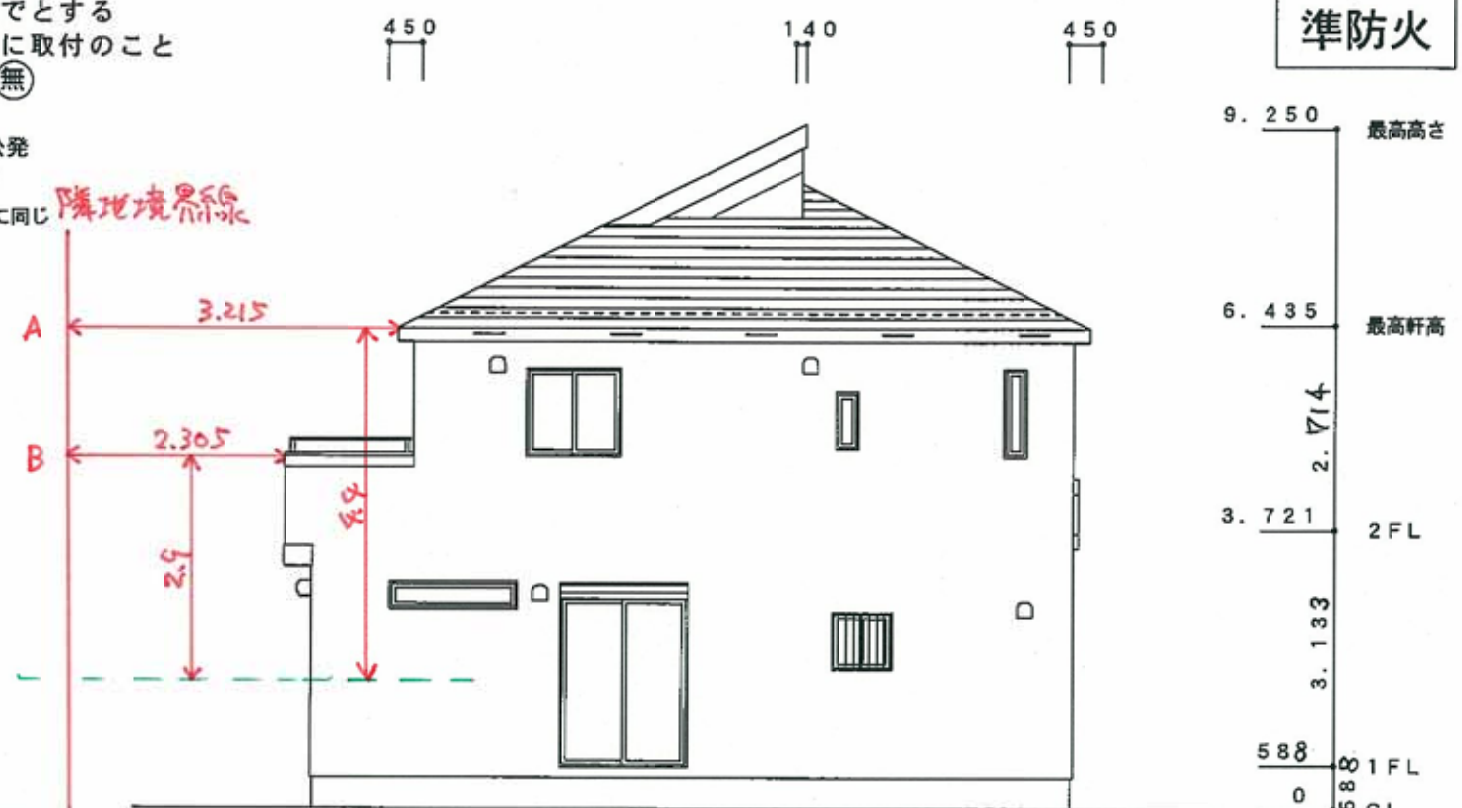
- * 軒の出寸法はトイ先までとする
- * 雪止め金具は、全屋根に取付のこと
- * 小屋裏利用 有・無
- * キソパッキン使用
- JOTO/H8.10.1住公発
- 第406号(建)96-501
- * ポーチ天井・バルコニー裏、軒裏に同じ

隣地境界線



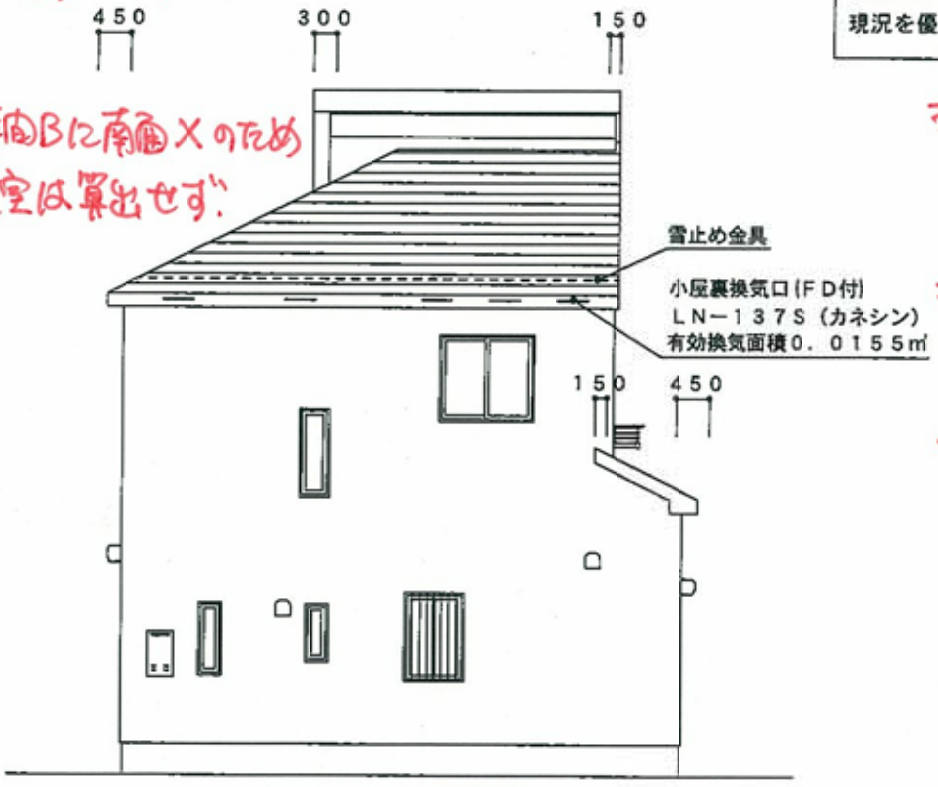
文庫部: 面積 3.63㎡
 厚床面積: 28.36㎡
 南立面図 1/100

注意事項
 寸法等に関しましては、施工上の都合により、
 現況を優先させていただきます。



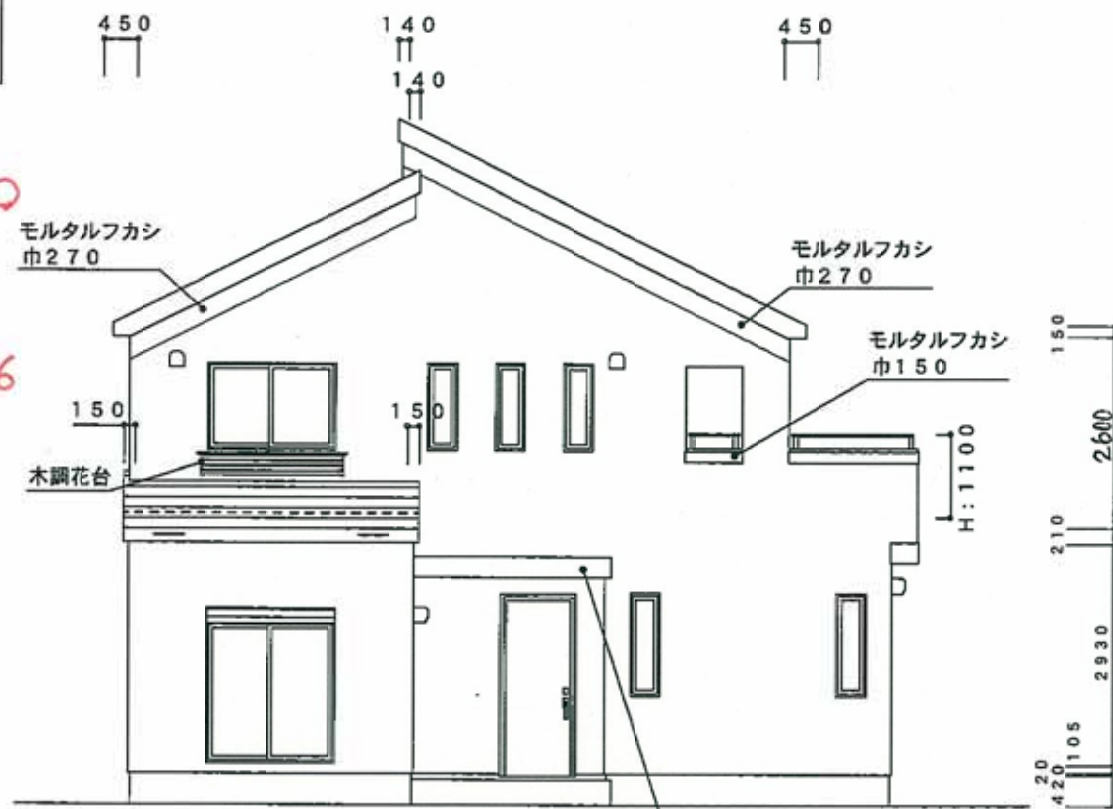
東立面図 1/100

* 洋館Bに南面Xのため
 寢室は算出せず



北立面図 1/100

採光係比率
 A: 3.215 / 4.4 = 0.731
 B: 2.305 / 2.9 = 0.795
 採光補正係数
 0.731 x 6 - 1.4 = 2.986
 有効採光面積
 3.63 x 2.986 = 10.84
 28.36 / 7 = 4.05



西立面図 1/100



凡	屋根材・2階	スベリアルグランデ 勾配5/10 スレート葺	外壁材	下地ラスモルタル塗厚20mm	軒裏材	防火板厚11mm (ニチアス) セラミタウマイルド仕上 QF045RS-9029	バルコニー裏材	防火板厚11mm (ニチアス) ジョリパットJP-100吹放仕上 QF045RS-9029	
例	屋根材・1階	スベリアルグランデ 勾配5/10 スレート葺			破風材	ウベボード HF-270 セラミタウマイルド仕上 PC030BE-9314			
工事名	E0B02107 西大袋2-1-7 邸新築工事				仕様		ポラス21		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			高度地区		準防火地域			
1階床面積	㎡	坪	敷地面積	㎡	2階床面積	㎡	坪	建築面積	㎡
3階床面積	㎡	坪	延床面積	㎡	延床面積	㎡	坪		
検査	中間・完了検査		割増						
POLUS	一級建築士大臣登録226962号 篠崎 信彦 (株)中央住宅 戸建分譲事業部一級建築士事務所			企画設計	実施設計	CAD	換印	製作年月日	1 平成19年 2月 14日
ボラスグループ	一級建築士事務所埼玉県登録第(4)3201号 TEL:048-937-3888			本堂	佐藤	加藤		2 平成 年 月 日	3 平成 年 月 日